

## 盛岡発

### 三陸防災博開催へ実行委

沿岸被災地を主な会場に開催する予定の仮称・三陸防災復興博に向けた準備委員会が設立され、イベントの基本構想が決まりました。開催の時期は三陸鉄道の久慈～盛間の一貫経営が始まる2019年3月とラグビーワールドカップが開催される同じ年の9月の間を基本とし、具体的には6月から9月までうち2か月間とする案が示されました。委員会は来年3月末までに正式名称と開催時期を決定する方針で、合わせて基本計画の策定も目指します。(11/10 ニュースエコー)



## 陸前高田発

### 商業施設で津波避難訓練

陸前高田市のかさ上げ地に今年開業した複合商業施設・「アバッセたかた」で津波避難訓練が行われました。



従業員を対象にした避難訓練は先日行っていて、今回は買い物客を誘導して高台の公園に避難させる

ものです。訓練には市内全体で2000人が参加し、津波から命を守ることの大切さを確認していました。(11/12 ニュース)

## 宮古発

### 防潮堤工事の見学会

宮古市の藤の川海岸で進められている防潮堤工事の現場見学会が市民30人が参加して行われました。海水浴場でもある藤の川海岸では一昨年3月に県が防潮堤の建設を決めましたが「海が見えなくなる」などとして一部から防潮堤の建設ではなく国道のかさ上げを求める声があがっていました。これに対して県は随時説明に努めるとして、来年6月には海岸沿いに高さ10.4m、総延長300mの防潮堤が完成する予定です。(11/14 ニュースエコー)



## 大船渡発

### 「かもめテラス」オープン

東日本大震災の津波で全壊した大船渡市の菓子メーカー「さいとう製菓」の本店が人々の憩いの場として移転・再建され、オープンしました。



「かもめテラス」と名付けられた本店はかさ上げした大船渡町の中心市街地にあります。工場を併設した店には看板商品「かもめの玉子」のデコレーションがで



きる体験コーナーや製造工程の見学コーナーも用意されています。(11/15 ニュースエコー)



## 陸前高田発

### さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

陸前高田災害FMの菅野陽子さんが、10月1日に市内にオープンした「まちなかテラス」について伝えてくれました。「まちなかテラス」は、東日本大震災で被災した高田町の5店舗が再建を目指して設立した商業施設です。そのうち「中華食堂 熊谷」は高田町の老舗で、白と黒の担々麺や餃子などが人気の店です。店主の熊谷さんは「こういった商業施設や図書館など少しずつ人が集まれる場所ができてきて嬉しい。」と話していたという事で、菅野さんも「ぜひたくさんの方に足を運んでいただきたい」と話していました。(11/15)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122